



日本共産党区議会議員

こんにちは
伊藤和彦です

自宅 足立区花畑6-20-1 電話3859-6952
足立区役所 電話3880-5111(内線4650~4654)
日本共産党区議団 直通3880-5770
<http://www5.familie.ne.jp/~k-itou/index.html>

写真右は花畑中学校
東側についた信号機標
示板花畑2丁目



信号機に名前がついた 標示板ができました

写真は信号機に標示板がついた花畑6丁目

地域の要求が実現

日本共産党区議団が行なった区民アンケートに、「区画整理で大きな道路に信号機ができましたが、どこの場所なのか、目印になるように信号の名前を付けてください。」の要望が寄せられていました。伊藤和彦区議は土木部・区道路管理課に要求し、このほど設置が実現しました。

信号機の標示板は、区立花畑中學校・花畑2丁目近くの「花畑中東」に設置されました。

「信号機に看板ができて分かるようになりました。ありがとうございます!」と地域の方から喜ばれました。

本気で正社員を目指す!

若者正社員就職サポート



正社員の仕事を探している若者たち(大学・高校等卒業後10年以内)が対象で就職プログラムです。2ヶ月の研修と3ヶ月の就業体験によりキャリアアップを図り、正社員への就職を目指すものです。

募集条件

正社員をめざし大学・高校等卒業後10年以内の方

研修期間中、派遣期間中の待遇と就業期間について

待遇
時給980円~(昇給の可能性
があります)
*約2カ月の研修期間は(株)
インテリジェンスの契約社員と

して従事します。
*研修期間・派遣期間も交通費を支給します。
*直接雇用切り替え後は各会社の規定に沿って給与が決定します。

就業時間

9:30から17:30(休憩60分含む)実働7時間

就業期間

平成22年11月1日~平成23年3月31日

くわしくは足立区役所へお問い合わせください。

電話03 6386 9151

メール adachi@inte.co.jp



「足立北郵便局の裏、UR竹の塚第一団地4号棟付近は夕方になると暗いので街灯をつけて欲しい」



写真は、足立北郵便局うらの道路、左側はUR竹の塚第一団地

UR竹の塚第一団地の足立北郵便局の裏の通り道の4号棟付近は夜、街灯が少ないうえ増やして欲しい



「日本共産党区議団が行った区民アンケートでは、すぐ直して欲しいと書かれてあったものを区土木部に要望しました。」

「私伊藤和彦は早速、区土木部に街灯設置を要望していましたが、このほど住宅・都市計画課長から調査をして街灯は

区民の願いを区土木部に要請し、年度内に改修の予定

平成23年度、3月中には改修を予定している」と回答が



質問にお答えします 5

Q 米軍基地をなくすと日本を守る力が弱まるのではないのでしょうか？

A そんなことはありません。米軍基地は日米安保条約に基づき日本全土に配備されています。爆音被害や事故、米軍犯罪など日本国民に耐えがたい苦しみと危険を押し付けています。在日米軍は日本の平和と安全を守るためのものではありません。米国の侵略的な世界戦略のために世界各地に干渉・介入するためのものです。この数年、日本に駐留する米軍は、2千人から3千人以上が、イラクやアフガニスタンの戦争に常時投入されています。在日米軍基地は、日本を守る「抑止力」どころか、アメリカが世界に戦争をしかけるための「侵略力」そのものです。

世界では軍事同盟が解体・解消し、平和の共同体が広がっているのが実態です。国どうしのもめごとは平和的に話し合いで解決する方向、外交の力が世界の本当の流れです。米軍基地のことを日本のマスコミが取り上げないことも問題ですが、その先駆けとなるのは憲法9条にもとづく平和外交こそ、日本の平和と安全を守る最大の力です。

沖縄県民の総意を踏みつけにした「日米合意」の実行はもはや不可能です。沖縄の米軍基地問題は、沖縄だけのことでなく本土と連帯した、たたかいを大きくすることが求められています。くわしくは伊藤和彦区議へ



苦しい区民の生活をよそに、足立区のため込んだお金は973億円です。過去最高、23区でもトップレベルです。千住の旧区役所跡につくられた「東京芸術センター」天空劇場と会議室は使っても使わなくても「総合商事」に平成38年まで、毎年9800万円もの税金を投入。また「竹の塚公共駐車場」は、Fビル所有者側に、毎年4000万円から空きでも毎年4000万円に上るお金が入る仕組みになっています。日本共産党区議団は、こうした特定業者を優遇したムダ使いをなくし、区民の暮らしを守る、安心できる区政に転換するため「4つの提案」で足立の未来をひらきます。足立区はお金がないのではありません。区民の声を聞かない、区民を思いやる心がないのです。お金の使い方を変える、こういう仕事を伊藤和彦にひきつづきやらせてください。